

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	市民安全課長	片瀬 由久
防安-10 交通安全対策事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	市民安全課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	総合交通	施策の方針
			交通安全意識の高揚

1 事業の目的

対象	市民等
意図	交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。
効果	交通事故及び死傷者の減少を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
 ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
 ・富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
	人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数	177,464人	177,243人	事業の対象者数	176,869人	
運営資源状況	決算値(千円)	17,241	16,148	当初予算(千円)	17,769	
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他	5	
	一般財源	17,241	16,148	一般財源	17,764	
	人員配置数	2.5	2.5	人員配置数	2.5	
事業経費運営	人件費(千円)	18,989	19,563	人件費(千円)	19,410	
	総事業費(千円)	36,230	35,711	総事業費(千円)	37,179	
	市民1人当りの経費(円)	204	201	市民1人当りの経費(円)	210	
	対象者1人当りの経費(円)	204	201	対象者1人当りの経費(円)	210	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 鎌倉・大船交通安全協会等
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市内の交通関係機関・団体等と連携、協力し、さらなる効果的な交通安全対策を推進していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	子どもから高齢者まで、各世代に応じた交通安全教育の拡大・充実を図る。 自転車の安全な利用の促進に関する施策を推進していく。 市内交通関係機関等との連携を密にして、総合的・効果的なスクールゾーン等での交通安全対策を推進していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	本市の交通事故の特徴として、高齢者、二輪車、自転車の関係する事故が、高い割合を占めている。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	小・中・高校生向けの自転車教室や高齢者向け交通安全教室の実施。 鎌倉・大船警察署等の関係機関、団体と連携しての交通安全キャンペーンの実施。 「鎌倉市自転車安全総合推進計画」に基づく施策の一つとして、「自転車左側通行」の路面標示を実施。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	市内の交通事故発生件数は減少しているが、依然として、高齢者、二輪車の関係する交通事故が高い割合を占めている。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	平成27年中の交通事故発生件数(上段:交通事故発生件数、下段:人口千人当たり交通事故発生件数)。								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	579	1443	534	1082	828	1521	175	148	
	3.35	3.41	2.24	4.22	4.27	3.77	3.04	3.28	
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市の平成27年中の人口千人当たり交通事故発生件数は、神奈川県平均(3.10)より若干上回っており、さらなる交通事故の減少を目指していく。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	年間交通事故死者数を0人とする。					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
「第9次鎌倉市交通安全計画(平成23年度～27年度)」の目標値。 平成28年度以降については、第10次計画の中で設定する。	目標値	0	0							
	実績値	2	3							
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	人命尊重の理念に基づき、交通事故による死傷者数を限りなくゼロに近づけ、交通事故のない社会の実現を目指す。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--